

～ かがやく杉谷っ子のために ～

# ONE TEAM



島原市立第四小学校  
学校だより No.53  
令和3年4月13日(火)  
文責：校長 大槻浩二

## かわいい28人が仲間入り！

4月8日(木)、入学式を行いました。今年度、28名が入学しました。コロナウイルス感染防止のため、在校生の参加は6年生のみとしましたが、今年度は、6年生が手を引いて入場しました。



担任の呼名では、元気いっぱい返事をし、きちんと礼をするなど、しっかりと式での作法ができました。金曜日からは、集団登校にきちんと入って登校し、6年生のお世話で学校がスタートしました。



### 入学式 式辞

(前略)

さて、これからみなさんに、第四小学校でがんばってほしいことを話します。しっかり聞いてください。

今日から皆さんは小学生です。ついこのあいだまで、保育園、幼稚園に通っていました。その頃は、皆さんの身の回りのことは先生や、家族の方がいろいろとお世話をしてくださっていました。でも小学生になった皆さんは、自分のことは自分でしなくてはなりません。もしかすると、ちょっと難しいことや、どうしたらいいかわからないことがあるかも知れません。しかし、心配しなくていいです。そんな時は、学校の先生や上級生のお兄さんお姉さんがきちんと教えてくれます。教えてもらったら、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えてください。また、これから毎日、皆さんが学校へ通ってくる道路では、近所の方々や杉谷地区のみなさんが見守ってくださいます。明日から、皆さんの「おはようございます」という元気な挨拶を聞けるのを楽しみにしていらいっしやいます。たくさん勉強し、元気に遊んで、第四小学校がめざす「優しい子 元気な子 進んで学ぶ子」になります。明日の朝から校長先生は、学校の前でみなさんが元気に登校してくるのを待っています。

六年生の皆さんにお願いします。今、皆さんの前に座っている一年生の「憧れ」となってください。一年生が「あのお兄さんのようにになりたい」「あのお姉さんってすてきだ」と思える上級生になってください。難しいことはありません。毎日、勉強や運動に一生懸命取り組み、友達と仲良く生活することが一番のお手本になります。よろしくお願いします。

さて、保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。今日まで愛情深く慈しみ育てられました。お子様の晴れ姿に、感慨もひとしおのことと存じます。これから九学年にわたる義務教育が始まります。お子様の成長とともに、親の役割について苦慮されることもあろうかと思えます。だからこそ、家庭と学校、地域の連携を強め、力を合わせて子どもたちを育ていく必要があります。御理解と御協力をお願いいたします。第四小学校は、全ての教職員で、一人一人の子供を大切にします。頑張る子を全力で応援します。困っている子や苦しんでいる子を全力で助けます。このことを子どもたちにも約束しています。安心してお子様をお預けください。

(後略)

## 肯定的視点の意識化と自主性の育成

今年度の本校の重点的目標は、児童の「肯定的視点の意識化と自主性の育成」です。昨年度から「人が嫌がることを言わない」という指導の徹底を行ってきました。その成果が出てきていますが、さらなる徹底を図り、全ての子どもにとって安心して学べる環境をつくりまします。また、自主性の育成について継続的に指導します。自分で考えて、判断し、行動ができる子どもを目指します。

子どものトラブルをふり返ると、お互いの良さを発見する意識が低いように思います。悪いところや失敗を見つけては、そのことを指摘し、言い合いになり最終的にお互いに傷つくこととなります。そこで、友達の良いところを見つける「肯定的視点」を意識させ、言葉の使い方の指導を重点化します。ご家庭でも子どもの言葉の使い方については、ご指導ください。始業式でもそのことにふれました。

### 始業式の話から

(前略)

明日からみなさんに頑張ってもらいたいことを二つ話します。一つ目は、「友だちのよいところを発見する目をもつ。みんながやさしくなれる言葉の力をつける。」です。

これまでも「人が嫌がること 悲しくなることは 絶対言わない 許さない」「やさしさいっぱい四小にしましょう」と話してきました。みなさんも頑張ってくれたので、ずいぶん良くなってきました。しかし、友だちとのトラブルをふりかえってみると、人の失敗や悪い所ばかり見つけて、人の悪口を言ったり、相手の気持ちを考えずに発言したりすることが、トラブルの原因だったように思います。

友だちのよさを見つける目、それを伝える言葉の力が足りないのです。

「人が一番よく聞くのは、だれの言葉でしょうか。」「それは自分自身の言葉です。ほかの人に言われた言葉より、自分の中で言っている言葉を一番たくさん聞いています。」

つまり、嫌な言葉、汚い言葉を使う人は、その言葉を自分の心が一番聞いています。人が嫌がる言葉を使わず、自分も相手も心地よい言葉を使うことが大切です。言葉の力をあらし、こんな詩があります。

その一言で、励まされ その一言で、夢を持ち  
その一言で、腹が立ち その一言で、がっかりし  
その一言で、泣かされる ほんのわずかな一言が  
不思議な大きな力を持つ ほんのちよっとの一言で

今年度は、「人よいところを見つける目を持つ。そして、みんながやさしくなれる言葉の力をつける。」このことを意識して取り組んでほしいです。



※ 新年度がスタートした。1年生はもちろんだが、他の学年もしばらくは、緊張が続きます。思った以上にストレスを抱えている子もいます。しっかり睡眠・栄養をお願いします！



### 第四小学校ホームページ

【URL】 <https://4sho.shimabara-edu.com/>

※ 今年度も様々な情報を up します！



←QR コードで  
ジャンプ！